

a prodigal son

作詞：長沢紘宣／作曲：三橋恵之矩

多くを口にはせず 苦境も意に介さず
背中で語るような 男を目指してたのに

どうやらちょっと僕は おしゃべりみたいで
語るはずの背中は 無口みたいだ

こんな僕だけど 愛していいですか
この手に抱きしめて 離さぬよう
あなたを想って 生きられるのなら
限りあるこのいのち 注ぐはそのためだけ

人の悪を思わず やさしく手を差し出す
業績に溺れない 男を目指してたのに

どうやらちょっと僕は 根に持つみたいで
差し出すはずの手は ポケットの中

こんな僕だけど 愛してくれますか
あなたのあたたかい その心で
星の降る夜も 光差す朝も
あなたの瞳に 僕が映っているように

見えないものこそ 色濃く感じる
深く根をはるような 心でいれたら

こんな僕だけど 愛してくれますか
その手に抱きしめて 離さぬよう
星の降る夜も 光差す朝も
あなたの瞳に 僕が映っているように